

## 研修会報告

令和7年2月2日

文責： 浅野陽子

研修会テーマ「輸血検査の基本に立ち返る」

開催日時 令和7年1月23日（木） 18:00～19:00

会場 Zoom ウェビナーを用いた Web 開催

司会 浅野陽子

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 31 名 入会申請中会員 0 名 非会員 0 名 賛助会員 0 名 学生 0 名  
合計 31 名

### 講演 1

【輸血検査のキホンのキ いまどんな反応が起きている？】

講師：仙台厚生病院 臨床検査センター 浅野陽子

### 講演 2

【学生時代より少し深く 輸血検査の試薬について考えてみよう】

講師：東北大学病院 輸血・細胞治療部 岩木啓太

19:00 終了

### 内容

今回の輸血検査部門研修会はテーマ「輸血検査の基本に立ち返る」で開催した。

講演 1 では【輸血検査のキホンのキ いまどんな反応が起きている？】というタイトルで仙台厚生病院臨床検査センターの浅野陽子技師が講演された。輸血検査の基本原理である赤血球凝集反応についての説明を中心に、試験管法、カラム凝集法、マイクロプレート法の原理について説明された。また、検査法による違いやメリットデメリットなどが説明された。

講演 2 では【学生時代より少し深く 輸血検査の試薬について考えてみよう】というタイトルで東北大学病院輸血・細胞治療部の岩木啓太技師が講演された。輸血検査の身近な試薬についての性状や特性について説明された。試薬の特性を理解しないで検査を行うと謝った判断をしかねない。コントロールの反応性を含めて解釈することの重要性が説明された。

基礎的な内容を再確認でき、検査の本質である反応原理や検出法について改めて整理することができた研修会であった。

今後も宮城県臨床検査技師会員のために楽しく学べる研修会を開催し、勉強する場を提供したい。